



ふれあい隊 花水木の会

奉仕作業を実施しました

7月11日(日)庭木の剪定、草刈り、草取りとふれあい倶楽部内を隊員・会員の皆様に綺麗にさせていただきました。また、7月13日には花水木の会の有志の方で花壇に、日々草など夏花を植えていただき、現在キレイに咲いております。一度ご覧にお越しください。



体育部からのお知らせ

9月19日(日)に予定しておりました宿南地区総合運動会を**中止**することになりました。新型コロナウイルス感染症の現在の状況では急激に収束するようには思えないからです。

今年は開催できるのではないかと考えておりましたが昨年と同様になってしまいました。来年は実施できればと願います。



喫茶ひまわりからのお知らせ

7月12日より営業再開しています。

営業時間

月曜日 午前9時30分～11時30分

木曜日 午後1時30分～3時30分

(時間変更しています)

アイスコヒーもあります。

是非ご利用ください。

スタッフ一同ご来店お待ちしております。



ラジオ体操開催中

7月21日～8月24日の夏休み期間中、各区で実施されています。**祝日・土曜日・日曜日・お盆(8月13日～8月15日)・雨降り日がお休み**です。(各区によって異なります)



川東老人クラブ報告会開催

7月20日(火)ふれあい倶楽部で10時より28人参加で開催されました。

田淵^{かなめ}中様指導によるレクリエーションを全員で楽しみ、その後ビンゴゲームで楽しい時間を過ごすことができました。



身近に見られる植物 ③

ダンドボロギク 〈キク科〉

可愛くもなく、美しくもない、そのくせ、そこら中に生息範囲を広げている。名前の由来は、愛知県の段戸山で発見されたこと、綿毛の様子が入道布（襪褌）に似ていることからです。北アメリカ原産の帰化植物。先駆性植物なので、山火事後に他の植物より先に一番に生える植物です。荒れ地、道端、庭先など環境が合えばどこにでも生えます。近年山里に増えているのはシカが食べないことと、今まであった在来植物がシカに食い荒らされて消滅したことで、広がっていると思われます。花らしい花の形をしておらず、

すぐに綿毛の種子を風に乘せて拡散していきます。



花言葉「強い心」 英名「fireweed」

行事予定&お知らせ



- 8月23日（月） 宗恩寺地藏盆中止
- 8月25日（水） 小・中学校始業式
- 9月 5日（日） クリーン作戦
- 9月 5日（日） 防災訓練 10時から
- 9月10日（金） 第2回文化部会
- 9月11日（土） 花火大会（主催）八鹿地区自治協

打ち上げ場所は、**2会場**ですが、
3密回避のためシークレットになります。
(想像してください)

第1会場 午後8時から 10分間

第2会場 午後8時10分から5分間

- 9月19日（日） 宿南小学校秋季運動会
- 雨天順延20日（予備日21日）



草庵先生紹介

日記 30



草庵の本箱の一部。
本箱には読んだ本、
塾生に読ませた本など
2千冊余りが保存
されている。

濱篤さん作

池田草庵の日記には「今日の読書は『近思録』2ページ半。『論語』2ページ半。『通議』13ページ（元治元〈1864〉年2月21日）というように、その日読んだ書物名、読んだページ数などが毎日のように書かれている。雑用や、体調不良で読書できなかつたときは、「書物を読むことができず、空しく一日が過ぎる」などと書いた。読書は、草庵にとっては日々修養していくために欠かせないものであり、その日の大切な仕事でもあった。「唐書」という歴史書を読み終わったときには、日記に次のように書いた。

「今日は『唐書』5, 6ページ読む。これでこの書物は読み終わった。昨年9月20日にこの書物を初めて開いてからおよそ14カ月かかった。ようやく全部読み終わることができ、読み終わった後は、いつものことだが喜びにたえない。『唐書』のページを最初から開き直して見ている」（慶応3〈1867〉年11月7日）何カ月もかけて読み終えた草庵の喜びが伝わってくる。草庵はこれとは思う書物については、こうして何カ月もかけて読んでいた。草庵の読書の仕方について、友人や塾生たちは次のように語っている。「低い声で何度も断続して声を出して読む。その間に書物から何かを見つけ出そうとじっと考えることもあった。1冊読み終えた後、その本について一文をまとめていた」（「但馬聖人」より）

草庵は読書の方法について、塾生に多くのことを語っている。「肄業餘稿」の中から抜き出して意識して紹介する。

「読書しながら疑問を持て」（27条）。「書物の中に住む虫のように。それだけの世界に住むな」（52条）。「聖賢の教えを知っているだけではだめだ。自分のこととして考えよ」（56条）。「読書と体を動かして実践していくこと、この二つを大事に」（172条）。「一生の間に読める書物はかぎられている。書物を選ぼう」（265条）

池田草庵先生に学ぶ会